

湖北歳時記

残雪の下にクロッカスの芽を見つけたとき、風に刺々しさがなくなつたとき、ぬるんだ川のなかに魚の影が動いたとき……。

「あ、春が近づいたんやな」雪が降つてこそ湖北の冬と、雪かきに精出しながらもこのときを待つていた人びとの顔がほころぶ。

まちわびた春。

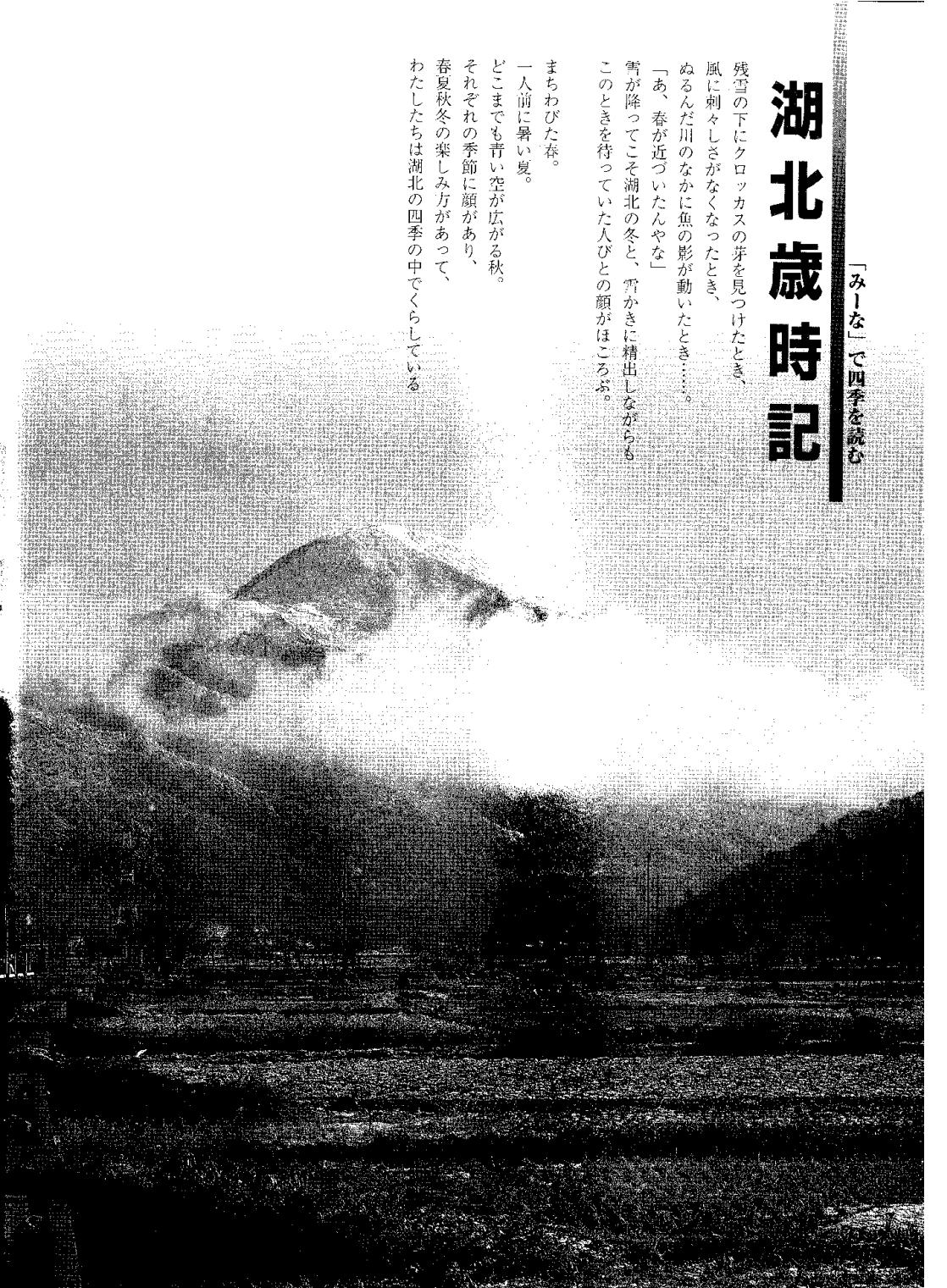
一人前に暑い夏。

どこまでも青い空が広がる秋。

それぞれの季節に顔があり、

春夏秋冬の楽しみ方があつて、

わたしたちは湖北の四季の中でくらしている



湖北の4・5・6月 春から夏へ イブキイチゲ

白妙の衣干すてふ天の香具山

万葉の女性が心をときめかせたという
白妙・イブキイチゲ(アズマイチゲ)は、さ

まざまな思い出し涙をそぞろ花なのです。

濃い緑のやわらかな葉をはずかしげに田形に抜け、そのまん中から伸びた茎の上に、小さな花びらの多いチューリップのような清楚な花をつけるのです。

雜木林の春にさきかけて咲くのは、せいぜい一週間あまりの花期です。伊吹山地でも山麓のざく一部にしか、いまだに群落が確認されていないのです。イチジンソウやニリンソウ(もつともこれは季節があとにあります)と同じ様に群落を作っていますから、決して見つけるのはむつかしくないのですが。

私がはじめてこの花に出逢ったのは中学二年の春、学校は春休みに入つてしまつた。姉と一人でむしろ道を自転車で走りながら、林の中を群落を見つけたのです。

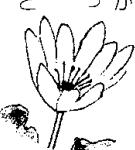
当時の姉は大津に在學中で橋本忠太郎先生に師事していましたから、翌朝早速「株ばかりを掘つて大津に走りました。本県ではじめての発見」と

いうことで、その年の秋、植物同好会誌に発表され、「イブキイチゲ」と命名されました。

こんなことがあってからは、私もまた先生のおしりを追っかけて、湖北の山々を歩き廻るようになりました。しかしもなく出征です。ありがたい事に飛行場はどうへ行っても広々とした野つ原。さざまな林に囲まれていましたから、野草を摘むのには事欠きませんでした。武藏野でも八戸でも能代でも、かすかずの野草との出逢いがありました。やがて終戦です。翌年の春、思いがけなくも再びイブキイチゲの群落を前にすることができたのです。

それからわずか九年。乳飲み子をはじめ五人の子どもを残して姉は他界しました。ちょうどこの花の咲く頃でした。イブキイチゲの名は寧ろひはなうなかつたもので、アズマイチゲが正しいようですが。しかし私にとって、これはまさしくイブキイチゲなのです。

人間とは生涯だれもが一本の野草をかげて歩むものだというのなら、私はこの花をもう半生以上もかげ続けて来たことに、ふと氣付かされるのです。



あ の ま ち
■ に の ま ち

曳山と子供歌舞伎の組み合わせは、全国に
どれくらいあるのでしょうか。

せまい曳山を舞台にして演じるには大人で
はダメで、やはり子供歌舞伎が適しているの
でしょう。子供ならではの愛らしさが、曳山
独自の子供歌舞伎の魅力を増しているように
も思えます。ふだんはそこかしこを転げまわっ
ている男の子が、大人顔負けの迫真的演技を

やつてみせるところに、伝統の持つ底力を感
じます。

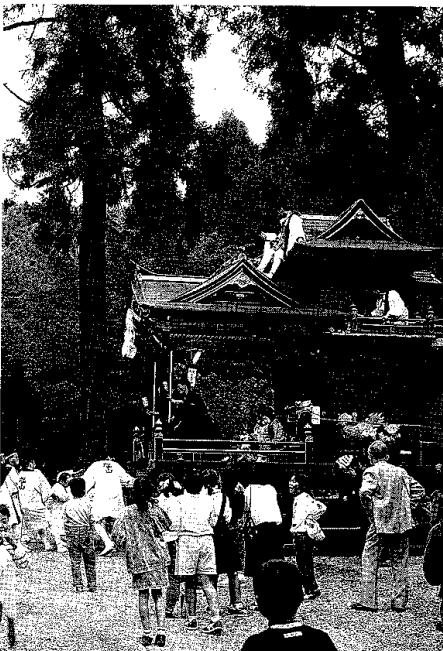
米原町米原には、「旭山」、「松翁山」、「寿
山」の三基の曳山があり、毎年十月九日から
十一日までの三日間、曳山祭が行われていま
す。この祭は湯谷神社の秋祭として行われて
いるもので、今年は「旭山」、「松翁山」の二
基の巡行が行われました。

絢爛豪華な子供歌舞伎

「米原曳山祭」

(県無形文化財)

湯谷神社 10/9~10/11



米原曳山祭の出し物

旭山（北町組）の今年の出し物は「御羅先代荻御殿政岡忠義の場」。鶴喜代君を亡きものにし、お家乗取り企む一味から幼君を守るために、乳母政岡は我が子千松とただ二人で付添っていました。日頃毒味するように教えていたとおり、ある日献上された菓子を千松が食べるときめが現れ、これを見た八汐は毒薬の露見を恐れて千松を刺し殺します。

政岡が我が子の殺されるのを見ても顔色一
つ変えないものを見て、政岡の子と幼君を取替
えているものと思い、栄御前らは自分たちの
悪だくみを打ち明けて帰ります。政岡は栄御
前らが帰ったあと、はじめて母親の姿にかえ
り、我が子千松の死体に取りすがってなげき
悲しむというものです。

また、松翁山（中町組）の出し物は「鬼一
法眼三略巻 一猿大藏譚御殿の場」。源氏の
忠臣吉岡鬼次郎は、妻お京の手引きで一條家
へ忍び込みます。毎夜、楊弓に打ちに興じる
と思つた常盤御前が、実は平清盛の画像に矢
を射て平家調伏の願いをかけていることを知
り、主従は再会を喜び合います。

しかし、この様子を知つた八剣勘解由は清

盛に注進しようとしています。その時、今までの

阿保面とは打つて変わつた凜々しい一猿大藏

卿が現れ、八剣勘解由を切り捨てます。

大藏卿は初めて、自分が源氏の流れを汲む
ため、平家の権力をはばかり、偽りの姿で常
盤を保護し、源氏再興の日を期していたと明
かす内容です。

七月末ごろにはその年の役者が決まり、台
本に合わせてセリフまわしや振りの練習が重
ねられます。九月中旬には舞台稽古に入り、
子どもたちも次第に役者ぶりが板に付いてき
ます。

そしてむかえる晴れの舞台。十月九日の宵
宮では、自町で曳山を巡行しながら子供歌舞
伎を披露します。夜には湯谷神社への急な坂
道を勢いよく登っていく、翌日の奉納狂言に
ねられます。九月中頃には舞台稽古に入り、
子どもたちも次第に役者ぶりが板に付いてき
ます。

そして、祭のハイライトは幕を閉じます。
宮では、自町で曳山を巡行しながら子供歌舞
伎を披露します。夜には湯谷神社への急な坂
道を勢いよく登っていく、翌日の奉納狂言に
ねられます。十日は本業。湯谷神社の杉木立の
中にこだまする役者の声は、厳肅な雰囲気と
伝統の重みに負けない実に堂に入ったものです。
神社から各町へと再び曳山は巡行を続け、
翌日の後宴まで、三日間子供歌舞伎が披露さ
れて、祭のハイライトは幕を閉じます。

長浜の曳山祭とは、また一味違った米原の
曳山祭。春と秋という季節の違いや、平坦な
境内と山腹の杉木立の中という環境の違いな
ど、それぞれに味わいのあるものではないで
しょうか。昔は、長浜と米原の間で役者の貸
し借りもあったと聞きました。長浜の曳山し
か知らない方も、来年はぜひ米原の曳山を訪
ねてみることをおすすめします。

問合先 TEL 0749-52-1551(米原町役場)
に掲載

7号 (特集／手づくり万歳 H2・11月発行)